



まず、 具体的活動を!

日本国際ギデオン協会全国理事

岩渕 勲

昨年、ソウルで韓国の牧師と食事をしながら話しをしていた時に、「日本には神学校はたくさんあるが、国際的に認められている神学校はない」と言われました。少々、ショックを受けましたが、考えてみるとそうかもしれないと思いました。神学校にかぎらず、大学も企業も同じような指摘を受けています。

私は、45年あまりビジネスの世界で仕事をしてきました。高度成長期も経験しましたが、今は国内で同業の企業が多く、その間での国内競争が激しく、消耗戦の様相を呈し、国際的競争力を失っています。「どんな国でも内輪もめしたら荒れすたれ、家にしても内輪で争えばつぶれます」(ルカ11:17)と言っているルカの指摘どおりになっているのです。

その一方で成長著しいアジアの国々が巨大なマーケットになっており世界中の企業が参入しています。そして、日本の企業を国際競争力のある強いものにする策の一つとして、企業間の合併が進められています。

私は、3度の合併を経験し、そのうちの2度は私が中心となって推進してきました。合併により世界でも通用する強い企業になるためです。

日本のキリスト教会の現状をみると企業と同じようにも見えます。世界的にみるとクリスチャン人口は増えています。しかし、日本では多くの教団で、教会員が減少しても教会数は変わらず、牧師も不足している状態です。日本社会をみると、平均寿命が延び、生きがいを失う高齢者の増加、一人暮らし世帯の増加、若年失業者の増加、自殺、DV、ストーカーの増加等、人間本来のあり方を見失っている人々が続出です。ノンクリスチャンだけでなく、クリスチャンでも何か満たされない心の渇きを満たしたいと思う人が多い中で、教会の果たす役割は益々大きくなっていると強く感じます。このような時代の要請にキリスト教会は何としても答えなくてはなりません。

多くの教団、教会、キリスト教諸団体が、その枠を超えて手をとりあい、協力しあい宣教の実をあげたいものです。そのためには、世の人の要請に応えられる具体的活動が求められています。内に向くのではなく、外に向けた具体的活動です。

私は「東京プレーヤーセンター」(TPC)はそのために設立されたと理解しています。私も毎日行われているTPC昼の礼拝のメッセンジャーの一人として奉仕させて頂いていますがTPCの活動が、このような現状の中に一石を投ずる役割を果たすことを強く願っています。